

金春流

第63回

能新

出水神社

とき 令和6年8月3日(土)午後5時30分開場 午後6時開演

ところ 水前寺成趣園内 出水神社能楽殿 (雨天決行)

主催 出水神社

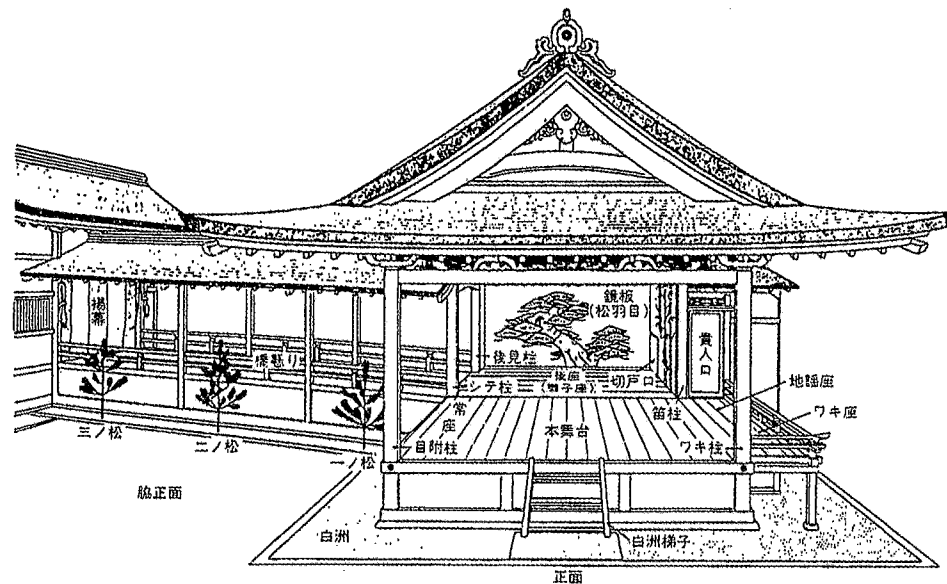
協力 金春松融会

協賛 熊本県文化協会
熊本国際観光コンベンション協会

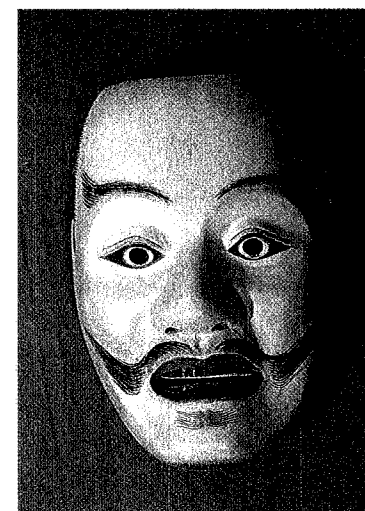
後援 熊本県文化協会
熊本日新聞社
熊本放送
NHK熊本放送局

観能無料

拝観料(入園料)は午後5時30分以降無料



能舞台



☆生徒さん募集

年令男女問いません

申込先 (TEL)

〇九〇一九四〇五一一六四七

金春松融会事務局長 田中秀美

- ・会場では係員の誘導に従い、ご観覧ください。
- ・写真撮影のフラッシュ使用や移動等はお断り致します。

ご挨拶

昨年十二月から出水神社の宮司職に就かせていただいております細川と申します。能楽に携わる多くの皆様方とともに伝統ある熊本の能楽の発展のために尽力してまいりたいと存じます。

新型コロナウイルスが収束していく中で、水前寺成趣園を国内外から訪れるお客様方も徐々に増えてまいりました。

出水神社の夏祭り、薪能は、昭和三十四年八月、在熊各流のご尽力により第一回が開催され、多くの皆様方に支えられ、今回が第六十三回目の開催となります。金春松融会の皆様が中心となって進められていることに対し、深く感謝申し上げます。

この長い薪能の歴史は千年を超えて続けられている興福寺は別格として、全国的に見ても五指の上位に数えられています。

この出水神社の薪能が途切れることなく、未来永劫続いていくことを期待しているところでもあります。今回の能の演目は、坂上田村麻呂を主人公とした「田村」でございます。

ご高齢の方々から子供さん方まで、多くの方々には水前寺成趣園の能楽殿にお運びいただき、諸事を忘れて、篝火の中で演じられる能をお楽しみいただければ幸いです。

出水神社 宮司代務者 細川 護光

清水寺の由来と『田村』

世阿弥の作とされる能『田村』の典故のひとつに『今昔物語集』がありますが、同書の巻十一第三十二に「田村の將軍、始めて清水寺を建てたる」という一節があり、清水寺と坂上田村麻呂（能の中では「田村丸」）との所縁について次のように述べています。（以下、岩波書店・新日本古典文学大系35巻による。）

今は昔、大和の国高市の郡、小島山寺に賢心という僧がいたが、夢の中で「南を去って北へ行け」とのお告げがあり、淀川に流れる金色の水をたよりに今の京都の東山に入ったところ、この地で二百年修行している行叡（ぎょううい）と名乗る行者と会います。そして、「おまえの来るのを待っていた。ここは観音様を建てるに相応しい場所と思うが、私はこれから修行のために北へ行くので、私の帰りが遅れるようならお前がこの願いを実現せよ。」と言ひ残して去って行きます。賢心が三年ほどこの地で修業をしていたところ、出産した妻に与えるために鹿狩りに分け入ってきた坂上田村麻呂と遇い、「あなたこそ、観音様を建立するにふさわしい人です。」と説きました。田村麻呂はこれに大いに賛同し、家に帰って妻に話をしたところ、妻も「自分のためとはいえ鹿を殺してしまった。殺生の罪を償うためにも、この家をもってお堂をつくりましょう。」と応えました。そして、田村麻呂という檀那を得た賢心は正式に得度して延鎮（えんちん）と名を改め、伽藍を建て、観音像を造ったのです。

『今昔物語集』に述べられているのはここまでですが、このあらすじはそのまま『田村』の前場で用いられています。それだけではなく春の都の花盛りの模様が盛り込まれ、彩（いろどり）を添えています。

後場は、別の出典や当時の伝説等をもとにした世阿弥の創作と思われまふ。朝廷から勢州鈴鹿（今の三重県）の悪魔を鎮めるよう命じられた田村麻呂が、虚空に現れた千手観音の助けによって勝利することができます。清水寺の由来をたどる中にも華やかさが漂う前場と、リズムカルな拍子に戦の場面が再現される中にも観音のご利益を高らかに謳いあげる後場とがひとつにまとまった名曲といえるでしょう。『田村』は能ではいわゆる「勝修羅（かちしゅら）三番」のひとつにも数えられており、『謡曲大観』の著者佐成謙太郎博士は『田村』について、「花実を兼ね備えた逸品である」と述べて高く評価しています。

※檀那（だんな）はお布施をする人。サンスクリット語の「ダーナ」が由来といわれる。

金春松融会

第六十三回 出水神社新能

番組

芝踏之儀

仕舞 嵐山

羽衣クセ

中山明英
上村恭徳

番外仕舞

笹の段

融

本田布由樹
本田芳樹

和泉流

狂言 昆布売

昆布売 山内理至

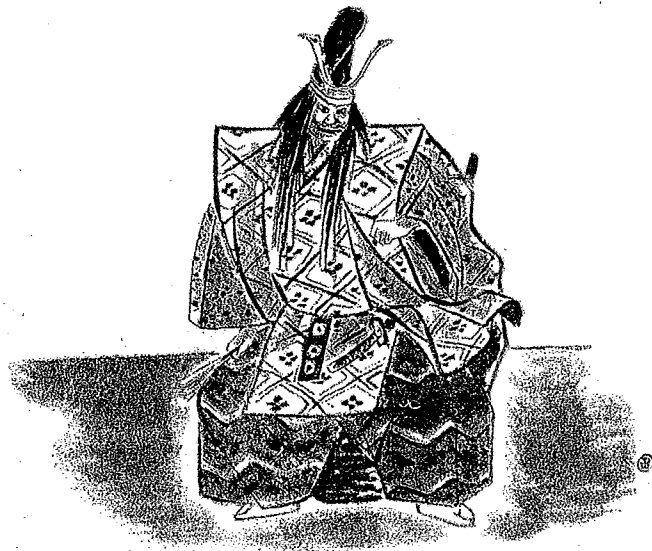
大名 田寫晴雄

解説

火入れ之式



前シテ 童子



後シテ 坂上田村磨

附祝言

後見

本 上
田 村
芳 恭
樹 德

林 中 松 村
田 山 下 上
孝 明 謙 芳
司 英 郎 明

秋 東 本 山
山 田 村
純 軍 布 政
晴 三 由 樹 巳

能 田 村
ワキ 飯 富 雅 介

(小) 古 田 寛 二 郎
(大) 白 坂 信 行

(笛) 内 田 秋 則

前シテ 網 谷 洋 志
後シテ 田 中 秀 実

ワキツレ 橋 本 宰